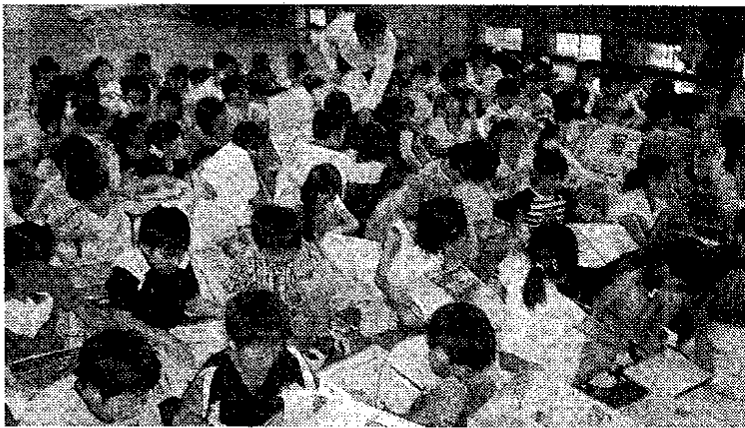


# 新聞の作り方紹介

## もえぎ野小で出前授業

青葉



新聞の作り方などを学んだ出前授業  
＝青葉区の市立もえぎ野小学校

「新聞の出前授業」が20日、横浜市青葉区の市立もえぎ野小学校（石井陽子校長）で開かれ、5年生児童約140人が社会と国語学習の一環として、新聞の作り方などを学んだ。

記者OBの菱倉昌二販売局長が講師を務め、同日付の一面を例に、一番知らせたい記事を題字に近い右上に置いて見出しも大きくし、二番目の記事を左上に、三番目を中央に置くレイアウトの基本を解説。ニュースの重要度の順に「頭」「肩

など人間のに例えることを説明した。

また、手書きで新聞を作るときは①1ページの段数、1段の行数、1行の文字数を決める②載せる記事の数と重要さを判断し、配置を決める③記事は大事なことを先に、正確に書く④班で作るときは「編集会議」を開き、一人で作るときでも周りの人に見てもらおうなどと助言。児童らは投影するスライドを見ながら熱心にメモを取っていた。

「出前授業」は学習指導要領の改定で新聞の活用が盛り込まれたことを受け、神奈川新聞社が学校支援事業として主催している。問い合わせは、本社販売局 ☎045(227)0707。